

さつまいもの試験

1. 試験目的

北海道の気候に適し、収量性、規格内率に優れる品種を選定する。
(重点項目)寒冷地適正、収量性、規格内率、内部品質、貯蔵性

2. 圃場条件

土壌型	土性	排水性	前作
台地土	壤土	やや不良	人参

3. 試験方法

(1) 試験設置概要

定植日	収穫日	マルチ	備考
5/22~6/9	10/12	ブラウンマルチ (5/14~10/12)	・収穫は、茎葉・マルチを撤去後に手作業により実施 ・マルチ展張時にアドマイヤー1 粒剤を施用

(2) 耕種概要

耕起	整地	整畦	畦間	株間	栽植密度
			cm	cm	株/10a
前年秋	5/14	1条高畦	120	40	2,083

※ブラウンマルチに各苗4節斜め植え

銘柄	施肥				施用日
	要素別施用量 (kg/10a)、基肥全層				
	N	P	K	Mg	
S806	5.0	12.5	10.0	3.1	5/14

(3) 区制および区の内容

/区				反復	配置
面積(m ²)	畦数	株/畦	株数		
4.8	1	10	10	2	乱塊法

※試験区は同一品種・系統が隣接しないように設計した。

(4) その他

- ・苗は、今年購入したVF苗(「パープルスイートロード」は一般苗)。
- ・収穫後、重量・規格内外に選別した。
- ・13℃タイマー加湿貯蔵庫で長期貯蔵し、腐敗率測定。

4. 供試品種

品種名	種苗会社
ベニアズマ	カネコ種苗
べにはるか	
高系 14 号	
シルクスweet	
パープルスweetロード	

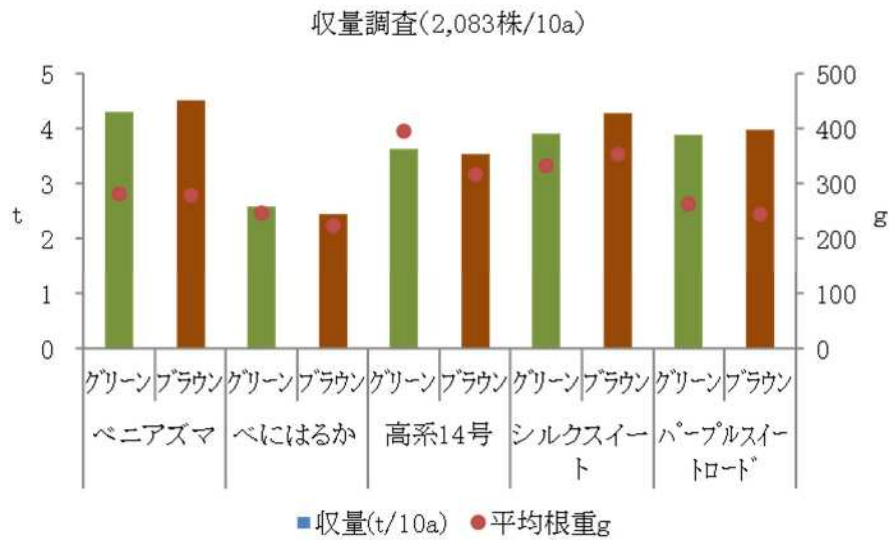
5. 試験結果概要

粗反収平均「ベニアズマ」4.4t、「シルクスweet」3.1t、「べにはるか」1.4t、他詳細別添
12 月中に官能評価と乾物率測定予定。

6. 考察

- ・粗反収は「ベニアズマ」で 4t 超え、「べにはるか」が最も低収(株当個数最少)。
- ・「ベニアズマ」「高系 14 号」は M サイズ中心、「シルクスweet」「べにはるか」は S サイズ中心だった。
- ・「高系 14 号」はマル芋率が最も高く(約 20%)、「べにはるか」は規格外率が高かった。

<参考:昨年度粗反収>



※グリーン:ダークグリーンマルチ、ブラウン:ブラウンマルチ

○令和2年度10月収穫時調査

	品種名				
	ベニアスマ	ベにはるか	高系14号	シルクスイート	PSイートロード
粗反収t	4.4	1.3	3.5	2.7	2.7
1本重g	383	221	433	232	230
cv	0.83	0.76	0.72	0.63	0.66
本数/株	5.4	3.1	3.9	5.5	5.6

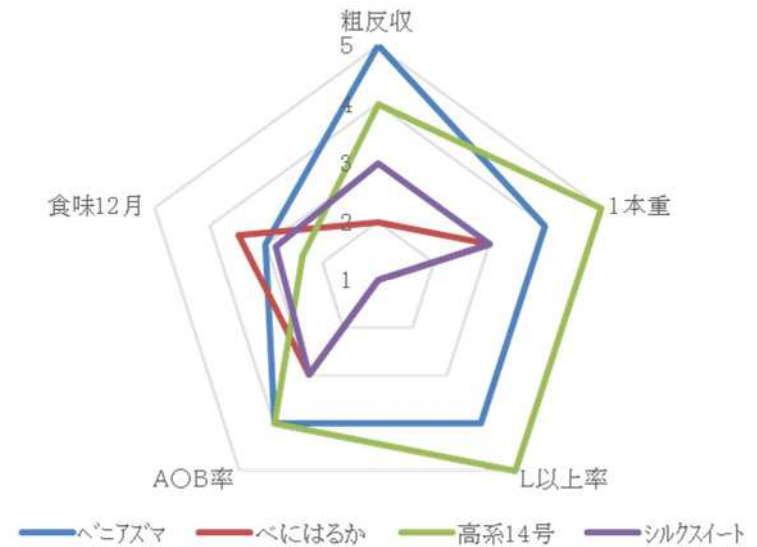
形量区分 %		品種名				
		ベニアスマ	ベにはるか	高系14号	シルクスイート	PSイートロード
3L	≥700g	12	2	15	3	3
2L	500-700g	16	5	13	3	5
L	350-500g	14	5	22	12	11
M	200-350g	29	29	27	32	25
S	100-200g	21	39	12	37	38
2S	60-100g	7	21	12	14	18
計		100	100	100	100	100

規格区分 %		品種名				
		ベニアスマ	ベにはるか	高系14号	シルクスイート	PSイートロード
A		67	65	49	61	59
○マル		0	0	22	1	0
B		5	2	6	3	8
C		7	6	10	16	10
切		12	5	3	6	5
×		8	23	10	14	18
計		100	100	100	100	100

○令和2年度12月貯蔵中調査

甘味と粉質感についてパネル3名で評価した。
(各品種サンプル2点で評価)

品種	ベニアスマ	ベにはるか	高系14号	シルクスイート	PSイートロード
甘味(弱1-5強)	3.0	3.5	2.3	2.8	2.3
粉質感(低1-5高)	2.9	2.8	2.9	3.2	2.5
乾物率(%)	32.0	34.3	33.1	33.0	29.1





5/14 施肥薬散・マルチ展張



5/22 定植開始



10/12 手収穫